

【水難事故事例】

兵庫県都賀川における水難事故



平成20年7月28日 表六甲の降雨状況

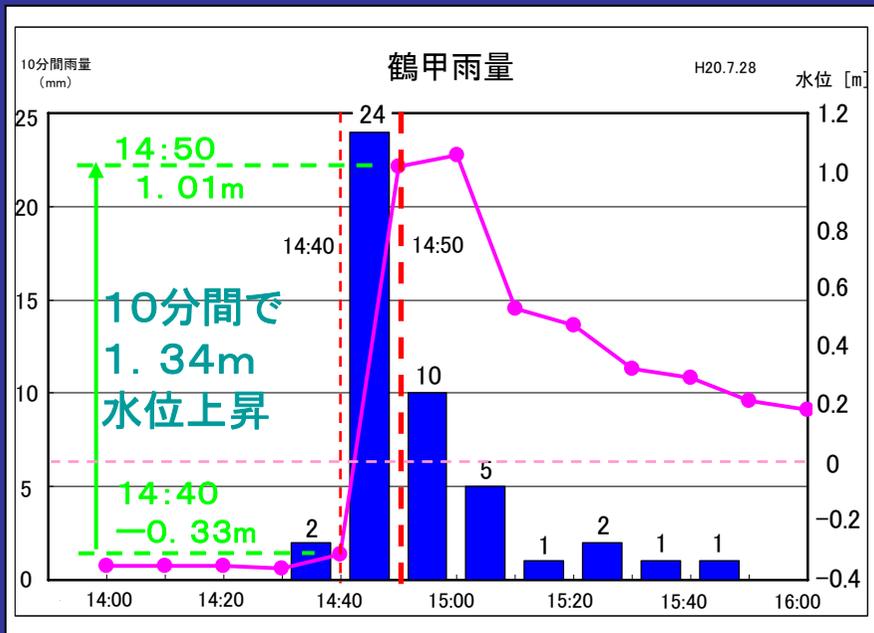
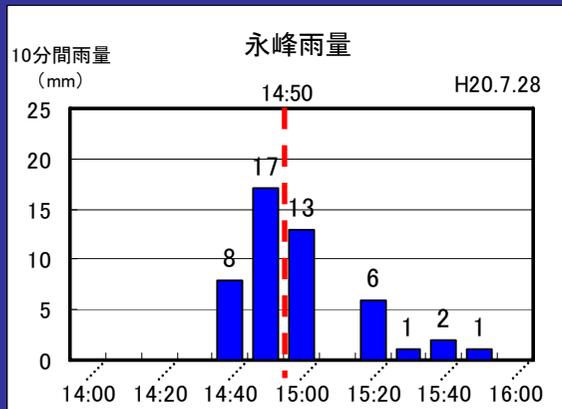
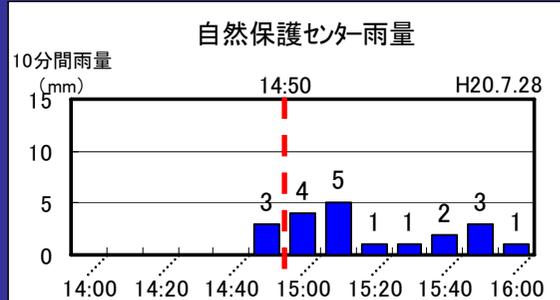
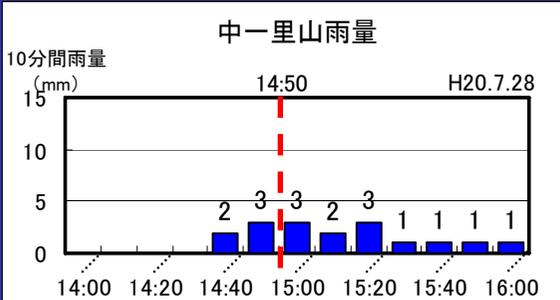
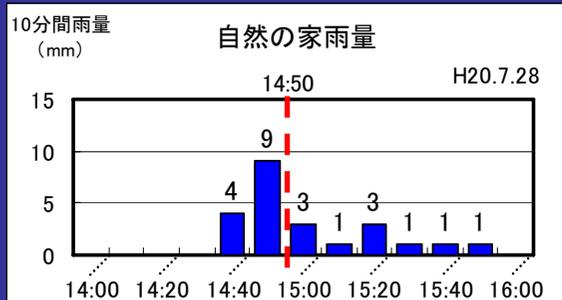


○無降雨から突然の豪雨 ○短時間の豪雨
○表六甲中央の山麓部に集中した豪雨

数値は10分間雨量
(mm/10分)



平成20年7月28日 都賀川甲橋水位と降雨量

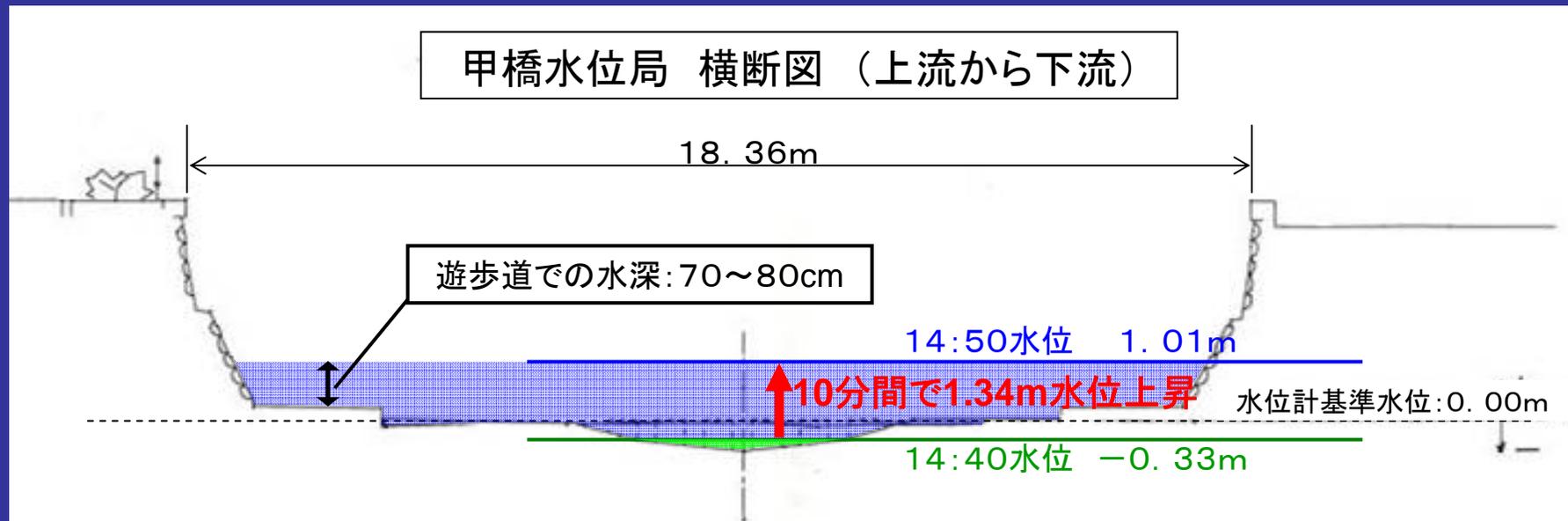


都賀川流域周辺では14:30から15:00、特に永峰・鶴甲の14:40からの10分間に強い降雨
 甲橋水位局では降雨とほぼ同時の14:40から14:50の10分間で水位が1.34m急上昇

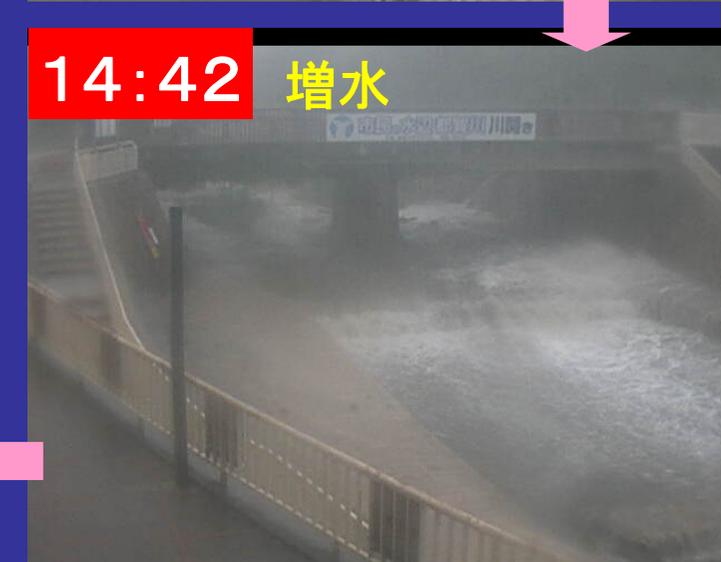
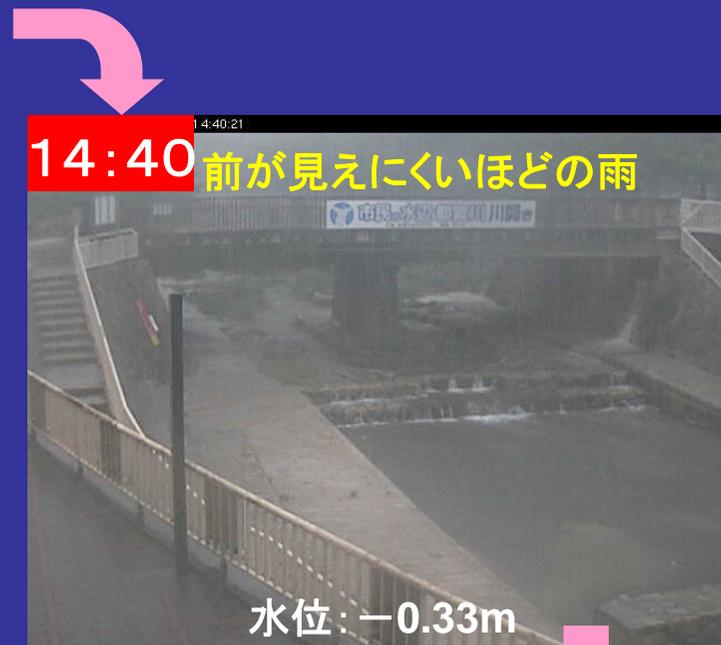
都賀川甲橋 水位上昇状況



※神戸市モニタリングカメラ画像



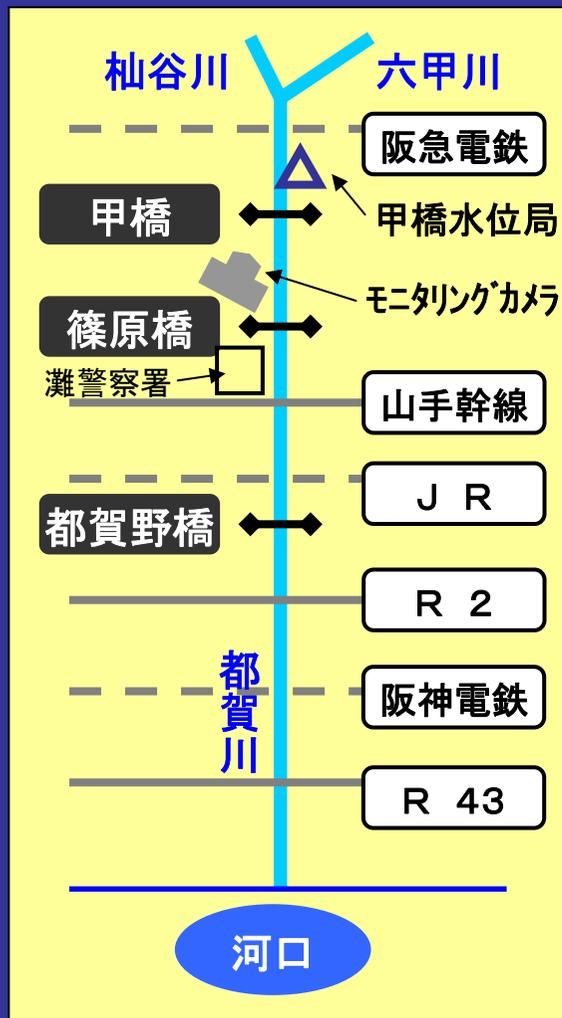
平成20年7月28日 都賀川甲橋 神戸市モニタリングカメラ画像



平成20年7月28日 都賀川水難事故の状況

※新聞報道による

亡くなられた 5名の状況



○学童保育所「どんぐりクラブ」児童2人

- ・篠原橋付近で川遊びしていた引率者2名と児童16名が、14時半頃真っ黒な雲が空を覆い始めたため、帰り支度を始めたが、雷が鳴り出したため篠原橋の下へ避難。
- ・約10分間で雨が猛烈な勢いとなったため70m上流の階段へ向かったが、階段近くまで来たとき、瞬く間に水位が上昇。
- ・引率者が児童を階段に押し上げていたが、1人の引率者と児童2人が流された。引率者は自力ではい上がったが、河口で児童2人の遺体が発見された。

○園児と叔母

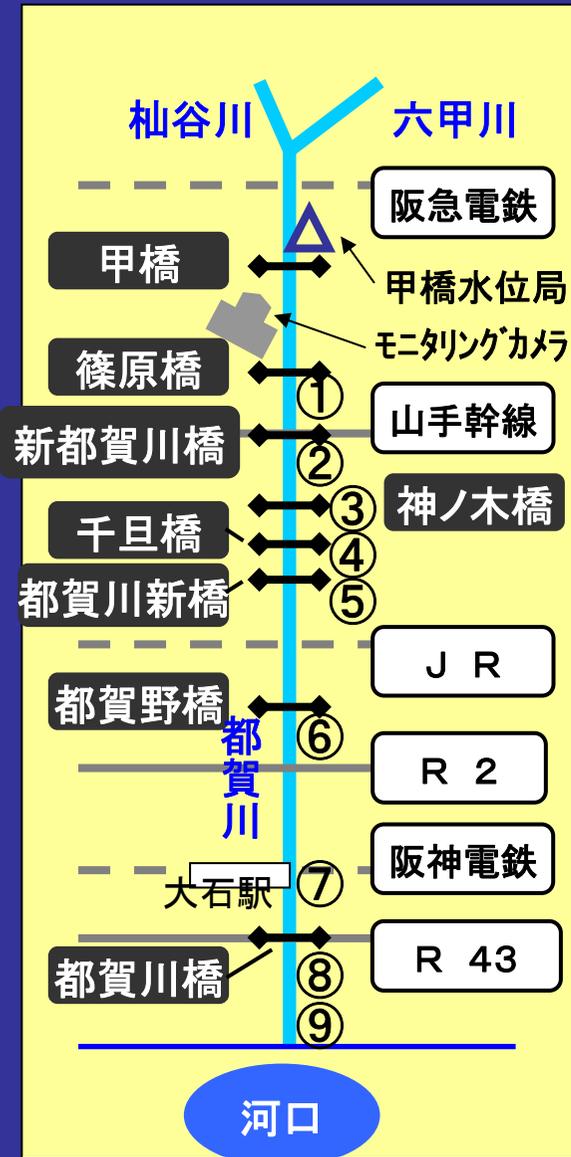
- ・14:40頃、都賀野橋の下で護岸にもたれて雨宿りしていると思われる2人の姿が目撃されている。
- ・河口付近で2人の遺体が発見された。

○32歳男性

- ・増水直前にJR神戸線高架下の都賀川右岸の河川敷遊歩道にショルダーバッグを枕にして寝そべっているところを目撃されている。
- ・30日未明に河口付近で遺体が発見された。

平成20年7月28日 都賀川避難・救助の状況

※新聞報道による
(8月25日灘警察署発表)



場所	人数	状況
①	16	民間学童保育所の児童らが橋の下で雨宿り中に激流。女性指導員が児童ら14人を避難させる。別の女性指導員は流されたが下流で脱出。
②	8	橋脚工事中の男性(49)が取り残されたが橋脚にしがみつ消防などが救出。残る7人の工事関係者は自力避難。
③	3	雨宿り中だった親子連れ3人が流されたが父親(39)と女兒(5)は自力で脱出。男児は①で流された女性指導員が偶然抱きとめともに浅瀬に乗り上げ無事。
④	10	橋の下でバーベキューをしていた8人が避難。近くの男児2人もグループの「危ないよ」の声で避難。
⑤	2	橋の下にいた男性2人が堤防をよじ登り無事。
⑥	4	民間学童保育所の引率者(大学生)と児童3人が避難。
⑦	3	駐輪場勤務の女性が、川岸に取り残された女性と娘らしき女兒2人をゴムホースで救助。
⑧	4	男性と孫らしき男児3人を近くの男性がロープで引き上げる。
⑨	2	釣りにきていた11歳の男児2人が鉄砲水に流される。近くの会社員ら5人がロープなどを使い救助。